

(令和4年12月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	12月の総入荷量は、月中旬から前年同様の厳しい寒さが続き、多くの品目において生育が鈍化したため、前年同月並みであった。総取扱金額は、野菜では前年単価を上回る品目が多かったものの、果物では前年単価を下回った品目が多かったため、7%下回った。今後も冷え込みが続く見込みであり、野菜類では生育が停滞し堅調な値動きが予想される。 1月は、野菜では、はくさいや青ねぎ等の葉菜類が目立ち、近郷野菜では、はたけ菜や花菜の入荷が増加する。果実では、伊予かんやはっさく等の晩柑類が増加し、いちご類も前月に続き増加傾向となる。
野 菜	野菜全般の入荷量及び単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は7%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は7%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は8%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は25%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は8%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は5%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は下位等級が多かったことから10%下回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で23%上回り、単価は11%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で9%上回ったが、単価は需要が低かったことから3%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎、鹿児島、徳島、和歌山を中心に千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は４％上回った。
西洋にんじん	長崎を中心に熊本、千葉、愛知、鳥取などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は２９％上回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城、兵庫、鹿児島、滋賀、岡山などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は２０％上回った。
キャベツ	愛知を中心に滋賀、茨城、兵庫、大阪などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は２５％上回った。
ほうれんそう	福岡、京都、茨城を中心に滋賀、鳥取などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は９％上回った。
レタス	兵庫、徳島、長崎を中心に岡山、愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回ったが、各産地において生育が進み供給量が潤沢となっていることから単価は９％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に高知、滋賀、徳島、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は４５％上回った。
なす	高知を中心に岡山、徳島、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は４％下回った。

とまと	熊本を中心に福岡、滋賀、三重、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％上回り、単価は３％下回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知、韓国、鹿児島、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回り、単価は３３％上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に長崎、京都、滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は高値で推移した前年同月と比べて４５％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、佐賀、中国、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％上回ったが、単価は高値で推移した前年同月と比べて３７％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、広島、大分、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は前年同月比で７７％下回り、単価は２０％上回った。
富士 (サン富士含む)	長野、青森、岩手を中心に秋田、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回ったが、単価は下位等級が多かったことから１８％下回った。
王林	青森を中心に秋田からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は１２％上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、長崎、佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で２３％上回り、単価は１１％下回った。
アールスメロン	高知、熊本、静岡を中心に長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で２０％上回ったが、単価は前年同月並みであった。